

# GSRC seminar

National Center for Geriatrics and Gerontology, Research  
Institute

## 神経免疫連関に着目した 痛覚制御メカニズム

神経免疫システム研究部

田中 達英 部長

2025年11月20日（木）15時10分～  
第1研究棟2階大会議室

---

### Abstract

様々な感覚刺激は、感覚情報として符号化され一次求心性神経を介して脳へと伝達される。この過程は、感覚受容器が外部の刺激を受け取り、それを神経信号に変換することによって実現される。痛み研究はこれまで痛覚伝導路に着目した研究が主流であったが、近年、神経細胞と空間的に近接する非神経細胞、特に脊髄におけるミクログリアやアストロサイトが慢性疼痛の発症と維持に重要であることが数多く報告されている。一方で、末梢における非神経細胞が痛みの伝導にどのように関与しているのか不明な点が多い。本セミナーでは皮膚真皮層および遠位結腸の粘膜固有層における一次求心性神経周囲のマクロファージに着目した痛覚センシング機構について我々の研究成果を紹介したい。